

## ～ケース会議に向けて～

### ★ 児童生徒を理解しよう！！

ケース会議を開催する前に、児童生徒の情報を整理することはとても大切です。情報を整理する中で、児童生徒に対して、あるいは支援の在り方について、新たな発見や可能性を見出すことにつながります。

《アセスメントシート》 → [資料1-1へ](#)



### ★ 情報の記録と共有に努めよう！！

ケース会議が井戸端会議とならないためにも、会議中に出された情報を記録に残し、情報の共有に努めていきましょう。記録をとることでケース会議の目的が明らかになり、「いつ、どこで、だれが、何を、どのように」支援にあたっていけばよいのか明確となります。

また、振り返りのよい資料にもなります。

《カンファレンスシート（初回）》

→ [資料1-2へ](#)

《カンファレンスシート（継続）》

→ [資料1-2へ](#)

《エコマップ》

→ [資料1-3へ](#)



※各種様式は、学校安全・体育課 Web ページからダウンロードできます。

作成日

アセスメントシート(事前調査資料)

|       |        |     |  |      |       |     |  |
|-------|--------|-----|--|------|-------|-----|--|
| 児童・生徒 |        | 学校名 |  | 学級   |       | 担任  |  |
| ふりがな  |        | 性別  |  | 生年月日 | 満( )歳 |     |  |
| 氏名    |        | 保護者 |  | 勤務先  |       | 連絡先 |  |
| 住所    | (〒 - ) |     |  |      |       |     |  |

相談種別  不登校  暴力行為  非行  いじめ  虐待  その他 ( )

|                           |   |            |
|---------------------------|---|------------|
| ジェノグラム(家族構成及び家族関係を示した関係図) | <p>男性 女性</p> <p>□ ○</p> <p>対象児 対象児</p> <p>◻ ◯</p> <p>離婚 別居</p> <p>// /</p> <p>結婚 同居</p> <p>— —</p> <p>関係性 ストレス虐待等</p> <p>⋮   ≡</p> <p>弱 強 ↓</p> | ジェノグラム 記入例 |
|                           |   |            |

児童生徒の生活状況・相談に至る経緯

児童生徒の学校生活状況

|     |                      |     |                      |
|-----|----------------------|-----|----------------------|
| 学習面 | <input type="text"/> | 生活面 | <input type="text"/> |
|-----|----------------------|-----|----------------------|

困っていること 検討したいこと

|       |                      |         |
|-------|----------------------|---------|
| 学校    | <input type="text"/> | 検討したいこと |
| 本人・家庭 | <input type="text"/> |         |

## ○カンファレンスシート(初回)

| 日時  | 場所 | 参加者 |
|---|----|-----|
| 今回検討したいこと                                       |    |     |
| エコマップ 現在の家族及び養育者の状況(健康・性格・夫婦・家族関係・仕事・養育力など)     |    |     |
| 家族の主訴   |    |     |
| 問題の経過   |    |     |
| 児童生徒の状況(健康・発達・性格・友人関係・親子関係・情緒・行動面など、実際の言葉)      |    |     |
| その他(経済状況・地域社会との関係・居住状況など)                       |    |     |
| これまでの関係者(担任・生徒指導・教育相談・管理職・病院・福祉部局担当者など)のかかわりと見方 |    |     |

◇アセスメントの結果

Blank area for assessment results with horizontal dashed lines.

◇支援目標

長期的な支援目標

短期的な支援目標

◇課題に沿った役割分担

| 目 標 ・ 課 題 | 具体的な方法・役割 | 担当機関 |
|-----------|-----------|------|
|           |           |      |
|           |           |      |
|           |           |      |
|           |           |      |
|           |           |      |
|           |           |      |
|           |           |      |
|           |           |      |

|               |           |  |
|---------------|-----------|--|
| 次回のカンファレンスの予定 | 日 時       |  |
|               | 参加者・関係機関等 |  |

○カンファレンスシート(継続)

|                  |    |       |     |
|------------------|----|-------|-----|
| 日時               | 場所 | ( )回目 | 参加者 |
| 今回検討したいこと        |    |       |     |
| ◇前回までのカンファレンスの経過 |    |       |     |
|                  |    |       |     |
| ◇エコマップ(現在の家族の状況) |    |       |     |
|                  |    |       |     |
| <補足等>            |    |       |     |

| ◇前回確認した目標・課題に対する支援状況                     |           |               |
|--|-----------|---------------|
| 課題に対する取組 (各機関・担当から) — どう取り組んで、結果どうだったか — |           |               |
| 目標・課題                                    | 支援状況      | 結果(本人・家族の動き等) |
| 担当機関( )                                  |           |               |
| 担当機関( )                                  |           |               |
| 担当機関( )                                  |           |               |
| 担当機関( )                                  |           |               |
| 現時点での課題(支援目標に対する現状把握)                    |           |               |
|  |           |               |
| ◇短期的な支援目標                                |           |               |
|  |           |               |
| ◇課題に沿った役割分担                              |           |               |
| 目標・課題                                    | 具体的な方法・役割 | 担当機関          |
|  |           |               |
|  |           |               |
|  |           |               |
|  |           |               |
|  |           |               |
|  |           |               |
| 次回のカンファレンスの予定                            | 日時        |               |
|  | 参加者・関係機関等 |               |

## スクールソーシャルワーカー（SSW）活用事業

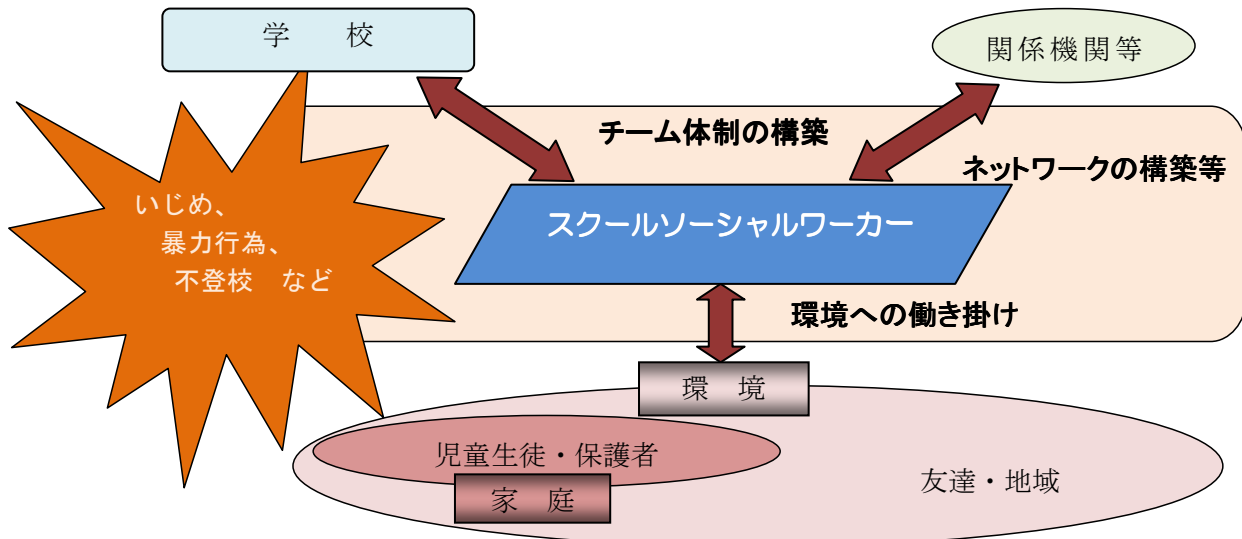
### 事業の概要

#### ■ 趣旨

- 不登校、児童虐待など生徒指導上の課題の解決のために、教育に関する知識に加え、社会福祉等の専門的な知識・技術が必要なケースが増加
- このため、社会福祉や心理の専門的知識をもつスクールソーシャルワーカーをやまぐち総合教育支援センター内にある子どもと親のサポートセンターに配置
- 児童生徒の置かれた生活環境等を把握し、関係機関と連携しながら、その改善を図り、課題の解決を図る。

#### ■ スクールソーシャルワーカーの職務内容

- (1) 問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働き掛け
- (2) 関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整
- (3) 学校内における支援チーム体制の構築
- (4) 保護者、教職員等に対する支援・相談・情報提供
- (5) 教職員等への研修活動



### 平成22年度の取組と成果

#### ■ 活動の状況

来所相談、要請相談、電話相談を実施した結果、特に、要請相談の対象となった児童生徒49人については、問題の解消・好転率が73%となった。

|            | 来所相談 | 要請相談 | 電話相談 |
|------------|------|------|------|
| 延べ相談件数 (件) | 327  | 143  | 1254 |

#### ■ 活動による成果

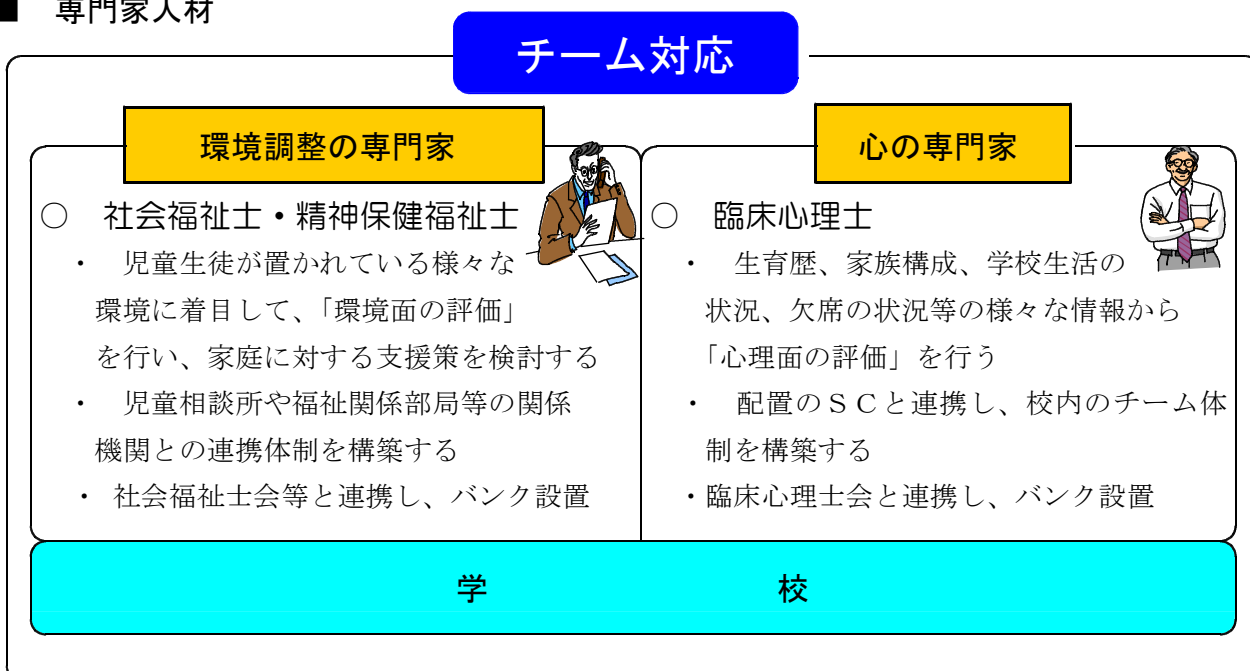
- 家庭訪問による保護者との関係の深まりと、家庭の状況理解の促進
- 的確な情報分析や、対応策の検討による早期の問題解決
- SSWのもつ人的ネットワークや社会福祉の知識の活用による支援活動
- コンサルテーションによる子どもと親のサポートセンター職員や教職員への支援
- 研修会の講師として校内連携体制の構築や援助活動の助言

## 不登校の未然防止に向けた専門家派遣事業

### ■ 目的

- 不登校対策は、未然防止及び早期対応が何よりも重要である。
- 「兆候」の見た段階、「休みはじめ」の段階で、専門家等を交えたケース会議により、「的確な環境面や心理面の評価」による「組織的な対応」が不可欠である。
- このため、ケースに応じて、社会福祉士、精神保健福祉士や臨床心理士を学校に派遣し、初期段階への即時対応に重点化したシステムを構築する。

### ■ 専門家人材



### ■ 事業概要

学校からの要請に応じ、各市町教育委員会が予算の範囲内で専門家を学校に派遣し、不登校の解消に向けたケース検討や必要に応じて事例への個別支援等を行う。

専門家の派遣の手続きは、市町教育委員会がバンク登録者に連絡し、ケース会議の日時等の調整を行う。

県教育委員会は、市町教育委員会からの実施報告書に基づき、専門家派遣に係る報償費、旅費を支払う。

### ■ 人材バンク（平成23年度）について

社会福祉士（23名）、精神保健福祉士（10名）、臨床心理士（32名）を登録し、児童生徒の状況に応じて、各学校等に随時派遣する。



## 子どもと親のサポートセンター

### 【教育相談】

#### 総合電話相談

- ・子どもふれあいテレホン  
083-987-1241
- ・保護者ふれあいテレホン  
083-987-1243
- ・教職員ふれあいテレホン  
083-987-1244
- ・ふれあい総合テレホン  
083-987-1240

月・水・金…8:30~17:15  
火・木…8:30~21:00

- ・いじめ110番  
083-987-1202
- ・ふれあいメール  
soudan@center.ysn21.jp
- ・ふれあいFAX  
083-987-1258

24時間対応

#### 来所相談

- 予約制
- 予約受付は総合電話相談で受け付けます。
- 心理・発達検査も行います。
- スクールソーシャルワーカーや臨床心理士、ネットアドバイザー等も相談に応じます。

#### 要請相談

- 園、学校に出向いて、子どもたちの支援の在り方を一緒に考えます。
- 所属長から子どもと親のサポートセンター部長へ電話で申し込んでください。

### 【不登校の子どもと保護者へのサポート】

#### 不登校児童生徒のための学習支援室

- 金曜日、10:00~15:00に開室(年間35回)
- 学習支援に加えて、集団での体験活動及び教育相談も実施

#### 不登校について考える親のつどい

- 年3回程度実施
- 講師(臨床心理士等)による講話と保護者同士の情報交換

### 【教職員研修のサポート】

#### 支援研修(サテライト研修)

- いじめ・不登校・集団不適應等への対応、カウンセリングの在り方、学校教育相談の進め方、人間関係づくり等の校内研修や教育研究会を支援
- 内容、申込み方法等詳細は、やまぐち総合教育支援センターWebページに掲載

※詳しい内容等については、子どもと親のサポートセンターにお問い合わせください。

子どもと親のサポートセンター(やまぐち総合教育支援センター内)  
月曜日から金曜日(祝日・年末年始[12/29~1/3]は除く)  
〒754-0893 山口市秋穂二島1062番地  
TEL(083)987-1242